

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称： 特定非営利活動法人 環境・福祉事業評価センター	所在地： 長野市南高田 2 - 5 - 1 6
評価実施期間： 平成 2 6 年 7 月 2 9 から平成 2 7 年 3 月 3 日 * 契約日から評価結果報告会日まで	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 6 0 6 6 1 6 0 9 6 3	

2 福祉サービス事業者情報（平成 2 6 年 1 2 月現在）

事業所名： 株式会社 安寿の里のりくら （施設名） 安寿の里のりくら	種別： 訪問介護
代表者氏名： 大久保泰誉 （管理者氏名）（山田正利）	定員（利用人数）： 1 5 名
設置主体：株式会社安寿の里のりくら 経営主体：同上	開設（指定）年月日： 平成 1 8 年 1 1 月 2 5 日
所在地：〒 3 9 0 - 1 5 0 6 松本市安曇 4006 番地	
電話番号： 0 2 6 3 - 9 3 - 1 1 6 1	FAX 番号： 0 2 6 3 - 9 3 - 1 1 6 2
ホームページアドレス： なし	

3 評価結果総評（利用者調査結果を含む。）

<p>概要</p> <p>住宅型有料老人ホームに併設している訪問介護サービス事業所で、事業所の立地する地域住民とは密接に関わっています。雪の多い冬季は、特に近隣との連携がなくては緊急時の対応などが事業所単独では難しいことを地域の方々には理解いただいているようです。地域に一軒のみの医療機関ともしっかり連携ができています。</p> <p>特に良いと思う点</p> <ol style="list-style-type: none">1. 住宅型有料老人ホームに併設ということで、利用者さんに関わる時間がサービス提供時間以外にも多くあり、生活や身体状況が細かくこまめに把握されていて、サービス提供に活かされている。2. 防災・非常災害時の対応マニュアルがあり、併設の施設と合同で年 2 回防火訓練が取り組まれている。3. 感染防止・食中毒予防の取り組みでは、消毒公社による学習会、掃除の工夫（消毒剤使用等）手洗いの徹底、（調理職員の検便）を行っている。4. 近隣に 1 つしかない医療機関の医師との連携がとれている。 <p>特に改善する必要があると思う点</p> <ol style="list-style-type: none">1、 理念と運営の基本方針について、全職員の参加で、整備されることを期待します。事業所独自の理念や基本方針が曖昧になっています。具体的には、サービス内容や提供時間以外のサービスの充実等きめ細やかなケアが行き届いていますが、利用者情報の管理や諸々の記録やマニュアル等々においては、有料老人ホームと訪問介護事業所との整理ができていません。2、 利用者さんが、現在併設の方のみですが、事業所は 1 つの独立体ですので、緊急時の対応・苦情相談事故対応・他各種マニュアル等、独自の物を作られることを希望します。3、 家族へ利用者の生活ぶりなどを掲示されていた写真やお便り（機関紙）等で情報提供し、すべての家族との連携を希望します。

- 4、 利用者の基本情報・アセスメント・介護計画・実施記録・ケア評価・計画の見直し、ケアマネジャーとの連携の記録等一連の記録の意味や保存について見直しを希望します。
- 5、 職員の育成について、スキルアップの取り組み（内部・外部研修、自己研修、研修の振り返り）を期待します。

4 事業評価の結果（詳細）と講評
共通項目（別添１）
内容評価項目（別添２）

5 利用者調査の結果
アンケート方式（別添３ - １）

6 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント（別添４）

（平成２７年２月３日記載）

事業所の理念を新しく作り、事業所の氏名や目指す方向を明文化する。
事業計画書を作成し、経営状況を把握分析する。
研修計画は単なる計画表にならないよう職員一人ひとりについて基本姿勢に沿った教育研修計画を策定する。
大雪や、土砂災害に対して近所等への依頼、機関団体連携のリストや資料を作成し対策を講じる
苦情解決の仕組みを説明した資料を配布する等して苦情解決の体制を作る。
サービス計画は職員や利用者にもわかりやすく説明し各計画の進捗状況を確認、継続的な取り組みをする。
関係職員の合議により一人ひとりの介助方法、手順、利用者の意向と同意を含んだ手順を定め、実施する。

評価していただいた事で自分たちの取り組みの足りない所がわかり、改善していきたいと考えております。

ご本人、ご家族に安心していただけるよう努力したいと思います。